



中央中等教育学校校歌  
中央高等学校校歌

作詞 草野 心平 作曲 渡辺 浦人

一、春はむらさき 夏は雲  
群青の秋 雪の冬  
白亜に映える 学び舎に  
太陽光は ふりそぐ  
おお朋がらよ 眉あげて  
火の山の 高きにならえ  
若人よ 腕組みて  
新しき学を きわめん  
群馬中央 われらが母校  
われらは真と美に生きる

二、赤城風を なつかしみ  
仰ぐは四季の 榛名山  
校旗はためく 学び舎に  
われらは集う おおらかに  
おお朋がらよ 胸張りて  
健康に わが身鍛えん  
若人よ こぞりてぞ  
新しき文化 築かん  
群馬中央 われらが母校  
われらは善と義に生きる

# 中央 同窓会報

第30号

CONTENTS

■ 特別寄稿	3	■ 同窓会活動報告(収支報告)	9
■ 恩師は今	5	■ 進路だより	10
■ 母校だより	6	■ 同窓会活動報告・他	12

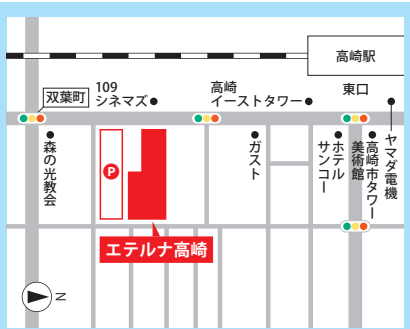
■ 題字：8期 廣瀬 正史（少林山住職） ■ 表紙の写真：現在の校舎

令和5年度

## 通常総会のお知らせ

日時 ▶ 2023年6月24日(土) 17時～  
会場 ▶ エテルナ高崎  
高崎市栄町22-30 TEL027-323-1122

総会終了後、懇親会を予定しています  
会費：3,000円（学生1,000円）  
会員のみなさまのご出席をお待ちしています。



発行

## 群馬中央同窓会

卒業者数 15,392人（中央高等学校 13,697人 中央中等教育学校 1,695人）2023年4月1日現在  
〒370-0003 群馬県高崎市新保田中町184 TEL.027-370-6663 FAX.027-370-4910  
ホームページ リニューアルしました。詳細は最終頁をご覧ください。



中央高等学校  
昭和38年1月1日創立



中央中等教育学校  
平成15年4月1日創立



同窓会長あいさつ



思い出がいっぱい

同窓会長 時澤 秀明

3月1日に中央中等教育学校第14回卒業式に出席しました。6年間の思い出を胸いっぱい詰め込んで巣立ってゆく卒業生のみなさんの凛々しい姿には、大きな感動を覚えたものです。今回の卒業式はコロナに伴う制限がやや緩和され、久しぶりに生徒のみなさんによる校歌を聴くことができました。私は校歌を聴くたび、口ずさむたび、自分の高校時代の思い出が甦ってきます。それは、年を取れば取るほど鮮明になってきたように思います。

楽しかった思い出、嬉しかった思い出、辛かった思い出や悲しかった思い出…。人それぞれの心の中に残る思い出は様々ですが、人と会って「あの頃」を語り合うことには感慨深いものがあります。年に一度の同窓会総会・懇親会は、それぞれのもつ思い出を確かめ合い、当時に戻って今の自分を見つめなおす良い機会ではないでしょうか。私が仲の良かった同級生や先輩、後輩、ラグビー部の仲間の中には、すでに亡くなってしまった人もいます。それはとても悲しいことでしたが、当時の仲間と会って彼らの話をする中で、その笑顔や声はいつになってもはっきりと思い出すことができるのです。

今年の6月24日(土)、久しぶりに縮小をしない同窓会総会と懇親会を開催します。みなさん、ぜひおいでください。そして、「あの頃」に戻って思い出話に花を咲かせませんか。忘れていた自分を再発見するかもしれません。言いたくても言えなかったことが言えるかもしれません。昨年の会報に参加者増加に向けた提案を書きましたが、今回は自分の知り合いのいる団体等に声をかけ始めています。例年以上に多くの方に集まっていたいただければとても嬉しいです。

人が集まって話をするうちには、今までなかった新たなつながりが生まれます。そのつながりは中央中等の目指す「地球市民としての日本人」の第一歩となるかもしれません。これからも母校の充実に寄与できる同窓会として発展していくためには、いずれは中等卒業生のみなさんが運営の主体となる時が来ます。中等1期生のみなさんが社会の中堅となりつつある今、そろそろ「世代交代」を積極的に進めていくことが求められます。総会・懇親会だけでなく、様々な方法で母校への愛情のしみ込んだバトンを引き継いでいければと思っています。これからは群馬中央同窓会へのご理解・ご協力をお願いいたします。

校長あいさつ



「心のふるさと」として

校長 中西 信之

中央中等教育学校長として着任し、2年目を迎えました。この間、群馬中央同窓会の皆様をはじめ、関係各位のご理解ご協力を頂き、円滑な学校運営ができましたことに感謝申し上げます。

未曾有のコロナ禍もようやく落ち着きを見せはじめたため、本校では年度当初から全ての学校行事等を平常におこなっています。始業式や入学式における校歌斉唱にはじまり、今後は授業参観や体育祭、学習合宿なども通常実施します。また中央中等の特色であるシンガポールへの修学旅行や、ジュネーブ国連研修、ボストン語学研修なども復活させ、実施にむけた準備を進めています。思えば、この春に卒業した生徒達には、一連の行事が中止になるなど、活動制限ばかりの3年間を過ごさせてしまい申し訳なく思っています。しかしながら、そのような状況下にも関わらず、生徒達は互いに切磋琢磨を続け、過去最高の進路実績を残してくれました。この成果は、逆境にもめげずに挑戦し続ける、まさにフロンティアスピリットの具現化であると考えています。

さて、この春、中央中等20期生が入学しました。県立唯一の中等教育学校として、県教委や県民の皆様から大きな期待が寄せられているなかで、開校以来脈々と積み上げてきた実践や成果を新たなステージへと押し上げ、更なる飛躍を図ろうと考えています。県内他校を牽引するリーダー校として、揺るぎない地位を確立すべく、職員および生徒達が一丸となって奮闘努力しておりますので、群馬中央同窓会各位におかれましても、これまで以上に様々なご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私事ですが、私は中央高校の創立と同じ昭和38年の生まれです。17期生として3年、また教頭として2年、加えて校長として2年、この中央に通うこととなるなかで、新保田中の地は、私にとって「心のふるさと」として存在するに至っています。還暦をここで迎え、また教職生活の締めくくりが中央であることは感無量です。退職後も微力ながら群馬中央同窓会の一員として母校を応援していこうと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

特別寄稿

「中央」について



少林山達磨寺 住職  
8期 廣瀬 正史

同窓会役員で同期の福田幸正君が同窓会誌に「中央」の文字を書いているのだから何か書けというので、坊主として「中央」について勝手なことを書いてみよう。

もとより「中央」は地理学的には高崎・前橋の中央、群馬県の中央ということだろうが、同じような意味である「中心」ということから考えてみることにする。

「佛教は無我にて候」というように「諸法無我」を説く、これは物事には我というものはなく、この世に単独で存在できるものはない、そしてどこにも中心というものはなく、全てはつながって存在しているということだ。

たとえば「私」という存在は認識されるが、「私」のその中心はどこにあるのだと考えると、脳の新皮質の一部に「私」を意識する神経細胞の働きであるとするが、どこの細胞か言及することはできない。仮に一つの細胞を仮定しても1個の動物細胞には数万種類のたんぱく質が80億個も存在し、一秒間に数万個のたんぱく質が死滅し、また生成されているという。私達は生まれた時の自分が連続して存在しているように思っているが、「諸行無常」すべての存在は常でありえない。つまり、みな変化しているという一面がある。これは周知の通りであろう。

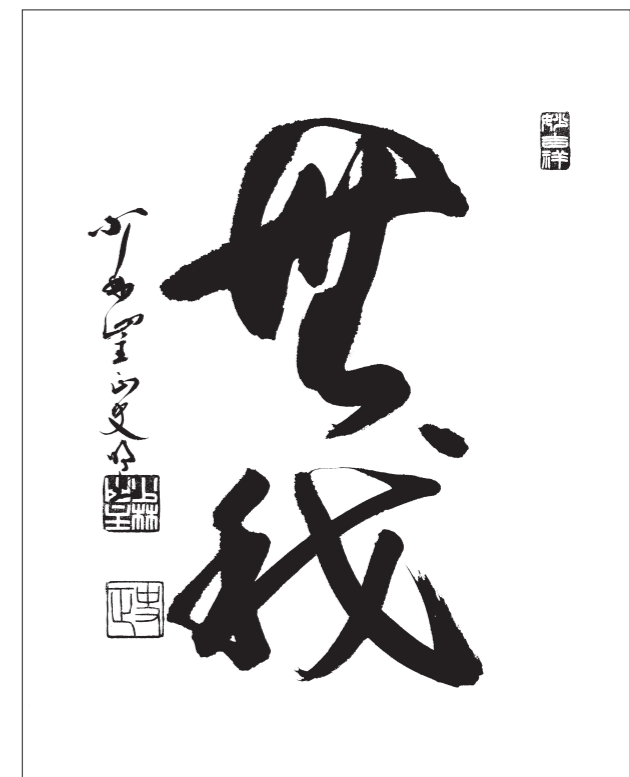
たくさんのたんぱく質で成り立つ細胞も一人の人間には60兆個の細胞があるというが、その一つ一つが呼吸器官、消化器官、循環器、神経系など形成し、様々な多様な働きをしている。「私」という意識が動くために全ての器官が脳の働きのために協力していると言ってもいいわけだ。だから「私」という存在はたくさんのものの集合体であり、脳の一部だけが大切なだけでなく、自分のすべてが繋がって「私」を支えてくれているのだ。

これと同じように人間社会も考えることができるのではないかと。「私」という個人は普通に生活しているが居、食、住を考えてみよう。「私」が賄えているものは何かというと、ほとんど何もできていない。特に現代人は社会生活を行う中でほとんどを他の人に頼って生きている。いまウクライナ戦争が起って物流が滞り、生き難さを感じるかと思う。こ

れは世界中が密接につながっているからである。更に地球全体も人間だけが住んでいるわけではないことがやっと気づいてきた。地球環境の変化も、「私」がそれに直結しているし、佛教では「天地と我と同根、万物と我と一体」ということを言うように太陽系も、銀河系も、大宇宙も「私」とつながっているとする。

「俺は関係ねえよ！」という捨て台詞聴くことがあるが、佛教理論からするとミクロの世界からマクロの世界まですべて関係性をもってつながっているのだから、関係ないものは何もないということだ。

さらに言えば、永遠の過去から永遠の未来につながる命のつながりの中に生きている「私」を縦軸に考え、空間的に全てとつながる「私」を横軸に考えてみるといいだろう。時間と空間の軸の交差点が「いま」「ここ」の「私」であり、全てとつながってしまっている「私」がいる。この無我としての「私」こそ「中央の私」と言える。





特別寄稿

群馬中央  
われらが母校

前橋市立前橋高等学校 教諭  
中等2期 斎藤 憂子



大阪万博以来2回目の「愛・地球博」が開催された2005年、私は中央中等教育学校の門をくぐりました。中央中等に在籍したのは平成17年度から22年度までの6年間です。入学直後は、6階建ての校舎や木のぬくもりが暖かいカフェテリアなど、真新しい施設設備に驚き、わくわくしていたのを覚えています。校舎西側にある宿泊施設、交流館はまだ建設途中で、中庭を挟んだ南側には中央高校の校舎がありました。友人たちは皆、キラリと光る何かを持っており、眩しいほど魅力的なメンバーでした。多感な6年間に共に過ごした仲間とは、今でも良い関係を築かせてもらっています。どんなに久しぶりに会っても、不思議と中等時代に戻ってしまう、わたしの宝物です。また、中等生活の振り返りに欠かせないのは、個性豊かで唯一無二な先生たちです。常に一歩先を照らしてくれたその存在は、私たち生徒が楽しく学校生活を送れた源でした。

中央中等卒業後は、県内の大学に進学し、英語教育学について学びました。その後、公立学校教員として東毛の県立高校に着任し、現在は前橋の市立高校にて勤務しております。学校現場に出て9年目となりますが、日々、目の前の生徒と向き合い、挑戦と反省の繰り返しです。大変嬉しいことに、研修会や部活動を通して、足が遠のいていた母校と再び関わる機会が増えました。英語スピーチコンテストで堂々とスピーチやプレゼンを披露したり、部活動の大会でひたむきにプレーしたりする在校生の活躍を見ると、OBである私も不思議と誇らしく、初めて会う中等生であっても「私の後輩です」と周りに自慢したくなるような気持ちになります。

先日、よくお世話になっている60代のバドミントンプレイヤーと話をしたときのことです。地元あるあるかもしれませんが、ふとした雑談から出身高校の話になりました。その方は中央高校出身だと言うのです。「春は」と尋ねると「むらさき」、「夏は」と尋ねると「雲」とテンポ良く返ってきて、まるで全てを語らずとも通じ合う、仲間のような感覚を味わいました。同窓生がこんなに近くにいたという驚

きと同時に、時代は違えども、同じ学び舎で学んだということに、「中央」の先輩後輩である縦のつながりを感じました。中央高校から中央中等への過渡期に、私たちを暖かく受け入れてくださった同窓会の皆様には感謝の思いでいっぱいです。校名や制服は変わりましたが、一方で、中央高校創立以来の教育理念である「フロンティア・スピリット」は、現在も新保田中の地に根付いていることでしょう。

さて、ついこの間まで、高校3年生の担任をしていました。やはり一番の話題は受験です。大学入試がセンター試験から共通テストに変わり、今回で3回目の入試となりました。センター試験では知識があれば解ける問題が多く出題されていたのに対して、共通テストでは思考力・判断力・表現力を重視した問題が出題されています。今回もその傾向は色濃く表れ、文章量が増加し、複数の資料や図表から情報を正しく読み取る力や読解力が問われました。国語に限らず、理科や社会、数学、英語においても同様です。これは、変化の激しい現代を生き抜くには、既存の知識だけでは太刀打ちができないからです。例えば、穏やかな流れの川があったとして、そこをボートで進むには、リーダーの指示に従って漕ぎ手はオールを動かします。漕ぎ手はリーダーの指示に従ってさえいれば良いのです。では、激流下りではどうでしょう。漕ぎ手は瞬時に状況を判断し、流れを予測し、力を合わせて前に進まなければなりません。グローバル化やIT化、技術革新の波が急速に押し寄せている今、これまでの当たり前は、すぐに当たり前ではなくなります。既存の知識をただコピーアンドペーストしているだけでは、その変化に乗り遅れます。変化の激しい時代を生き抜くためには、自ら学び自ら考え、課題を解決する力や他者と協力して物事に当たる協働力が求められています。

最後に、在校生の皆さんへ。今、大変なことがあったとしても、数年後、数十年後に振り返ると全てが良い思い出になるはずです。中央中等での6年間は、私に一生ものの経験を与えてくれました。自分に自信を持って、これからも夢に向かって突き進んでほしいと思います。一卒業生として陰ながら、皆さんの活躍と中央中等の発展を応援しています。

恩師は今



お世話になった先生方に在任当時の思い出や近況を書き綴って頂きました。



近藤 功先生

◆中央高等学校 昭和40年赴任

- 元 群馬県埋蔵文化財調査センター所長
- 元 群馬県立高崎北高等学校校長
- 元 群馬県立伊勢崎女子高等学校校長
- 元 群馬県退職高等学校長会会長
- 現在 富岡製糸場世界遺産伝道師協会会長

創立歌を記録に残しませんか？

群馬県立中央高等学校の校歌はこの同窓会報にも記され、現在も中央中等教育学校の校歌として皆さんに愛されて、歌われています。

しかし群馬県立中央高等学校が創立された当初、校歌はまだありませんでした。初代校長であった市川清校長はやがてしかるべき人に依頼して全国で誇れる校歌を作りたいと考えていたようです。そこに至るまでの過程でも現実に学校は動いていて生徒たちは元気に活動しています。校歌ができるまで生徒みんなで歌える歌を作ろうと、校長先生が作詞して、音楽担当の渡辺先生が作曲し創立歌が生まれました。この歌は草創期の学校の置かれた自然環境を伝え、校長先生の考えていた学校の方向性も盛り込まれたものでした。校長先生の学校に対する愛情と作曲した渡辺先生の熱のこもった創立歌でした。草野心平氏に依頼した校歌ができると創立歌は学校では全く歌われなくなり、公的には歌詞も楽譜も残っていないのではないのでしょうか？草創期に歌った人たちの頭の中にはまだ残っているかもしれません。創立歌が歌われた頃最も若い教員の一人であった私

も80歳を超えました。当時の卒業生も70歳を超えていますので頭の中に創立歌があるものなら、今、記録して同窓会報などに残しておいていただければと思います。私の記憶にある歌詞は断片的で途中までですが次のような歌詞です。

緑一望の農原 前橋の街に続く  
その果てよ 赤城山  
北空に裾引きたり  
謙虚 堅き志操  
培う学び舎の下…  
フロンティアスピリットもて……  
……ハイスクール中央  
……ハイスクール中央

記憶が薄れて歌い始めても途中で切れてしまいます。当時の卒業生の皆さん一人で思い出すのが大変なら同級生の仲間青春を思い出しながら歌ってみてくれませんか？歌詞が復元出来て曲が採譜できれば大成功です。草創期の貴重な歴史の一ページの復元だと思います。今やれないと校歌の前に創立歌があったことが永遠に忘れられてしまうのではないかと心配しています。私のところにあった中

央高校の資料も引越しや増改築の時の整理などで失ってしまったものが多数あり、古いものが見つからず残念でなりません。

初めて学級担任した4期生の卒業アルバムには「仲間とともに前進！」と書かせてもらいました。今でもよく覚えています。人間一人では生きていけません。周りの人を大切に仲間と共に生きることで人生の豊かさが出てくると思います。特に学生時代の仲間は格別です。卒業後の職業が違って、社会的な立場が異なっても、学生時代の友情は別のつながりがあります。

学生時代の仲間は活躍する分野が異なるため友の活躍が自分の生き方にも刺激を与え良い友情でつながって自らを励ましてくれることにもなります。色々な仲間を支えられ、長い人生を生き抜くことができます。

年をとっても、人生を勝ち抜くためには心は青年の気分でいたいと思います。新しいことに常に挑戦している人は心が老けないで頑張れます。小さな目標かもしれませんが中央高校の歴史にとっては大切なことだと思いますので。創立歌の資料を見つけ出すか、当時の卒業生の仲間復元していただければうれしくおもいます。





生徒会あいさつ

令和4年度生徒会代表 5年 勝山 侑

向かい合う二人の横顔。その性別も、年齢も、関係性もわからない。ただどこかに違和感を覚えながらも、私達はしばらくの間そんな不思議な二人に惹かれる。しかしあるとき突然気がつく。そこに一つの壺が屹立していることに。

これは「ルビンの壺」と呼ばれる有名な多義図形、通称「だまし絵」だ。一つの絵の中に複数の解釈が許される対象が描かれており、人によって異なる見方ができるところに楽しさがある。私は中央中等という学校も、だまし絵のような楽しさに溢れた場所だと思っている。5年前、私が入学して初めての朝読書の時間、隣の席の子が読んでいたものが相対性理論の本だったその時から、私はこの学校のことを並一通りだと思ったことはない。自分の中の読書の定義を考えなおすよききっかけとなった。自分の見えていたものが、誰かと話したあとにはまるで違ったものに見える、そしてその独特な発想に肝を抜かれる…中央中等生はこのように、いつも新しい視点を教え合い、お互いの選択肢を広め合いながら成長していくことができると感じる。

第19期生徒会本部でも、そんな「新しい視点」が常に発揮されている。日々の業務や恒例行事では、「これは本当に必要なのだろうか」「これを加えたらもっと面白いのではないかと、今までの形式にとられない自由な発想を常に求めてきた。各自の掲げる公約においても、それぞれの持つ視点の多様性が現れており、様々な方向から学校をより良くするために、企画書作成、先生方との話し合いに力を入れている。その中でも特に私達が頑張ったのが、校則の改変だ。生徒総会で出された希望を元に、その声がより反映されるように、生徒指導部の先生方と何度も協議を重ね、丁寧に練り直した。その結果、制汗剤、髪型、服装等に関する規定を改変することができた。もちろん、何もかも変更すればいいというわけではないが、生徒の皆さんの実情にあった学校を作るために日々センサーを働かせ続けることは大切にしていきたい。

日々の他愛もない会話や授業中の意見交流で起こる小さな化学反応から、朋友祭や体育祭で見せる強すぎるくらいの個性とそれを凌駕するほどの団結力。一人ひとりがだまし絵の中に新しい見方を足していくから、簡単には掴みどころが見つからないけれど、そんなわたしたちの日々をいつの日か俯瞰してみたら、きっとかなり複雑で、味わい深く、強烈に魅力的なのではないだろうか。

(学年は令和4年度のもの。以下8頁まで同様)

# 開校記念 講演会



令和4年11月1日、中央中等教育学校において、開校記念講演会が開催されました。ジャパンラグビー・リーグワン『パナソニック・ワイルドナイツ』のゼネラルマネージャー（GM）飯島均さんを講師に迎え、久しぶりに全校生徒が体育館に集まって実施されました。パナソニック・ワイルドナイツは日本代表選手を多数擁し、昨年も日本一に輝いた強豪チームです。飯島さんは、中学・高校の頃のご自身の豊かな経験、大学、社会人でラグビーと向き合う中で見つけたこと、群馬のサンヨー電機から現在の埼玉パナソニック・ワイルドナイツへ移行していく過程で果たしてきたことなどを、時折ユーモアを交えながら熱くお話してくださいました。講演後は、生徒のみなさんからたくさんの質問が出され、とても充実した1時間半の講演会となりました。

講師プロフィール

パナソニック・ワイルドナイツ  
ゼネラルマネージャー **飯島 均氏**

1964年9月1日生まれ・58歳  
府中西高→大東文化大→三洋電機 ポジションはランカー

'86年度、大学4年時に大東文化大を大学選手権初優勝に導く。'87年三洋電機に入社。'95年度引退後、監督として、日本選手権3連覇、トップリーグ初優勝など、輝かしい成績を残す。'12年より部長、'19年4月よりゼネラルマネージャー（GM）

## 生徒の感想

今日のご講演を聞いて、卒業するにあたって、受験や、自分と他人の能力の違い、人づきあいで悩む私にとって、非常に生き方として役立つことを教えて頂きました。飯島さんの、偶然ともいえるラグビーを始めきっかけや、様々な事の巡り合わせで、今の飯島さんがいると感じ、何事も全て今後に関わってくるのだと感じました。生き方の方程式や、SIONなど、私が必要性を感じていて、何か変わらなくてはならない、しかし上手く表現できないことを表していると思いました。意識や意欲、決断力など、まだまだ足りないことが多い気づかされました。自分の部活の経験や諸々の功績にあまり自信がもてず、周りの同級生と比べてしまうことも多く、これから大学に進学するにあたって、上手くやっていたのだろうかと不安に思う日々が続いていたのですが、飯島さんの様々な経験や苦しい努力から得た生き方をご教授して頂き、これからの自分の進路を前向きに考えられるようになった気がします。様々な人、事柄の縁、全ての巡り合わせで今の私があります。それに感謝し、自信を持って進学できるようにこれからも努力をおこたらず、色々な事に挑戦していけたらと思います。

6年生徒

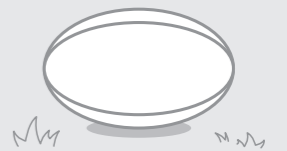
「人生において何があるかわからない」今回の講演会での話をきいて一番思ったことだ。これまでの人生において何か1つでも欠けたら、今ここにいる自分はいない。飯島さんは大学生のとき、スーパーで働くお母様の姿をみて目標をもったと話されていた。そのとき、もし家の鍵を忘れていなかったら、一生懸命に働くお母様の姿を見ることはなく、「ラグビーで家を建てたい」という目標を持つことはなく、こうやって講演をしていただくことがなかったかもしれない。そんな偶然が重なってきた人生において、より人生をよい方向にもっていくには、飯島さんのおっしゃっていた「Pと考えるかCと考えるか」という考え方が大切だなと思った。今現在の社会は日々すごい勢いで変化している。そんな変化に対して「Pinch→Pressure→Panic」と感じてしまったら、これからどう進んでいけばいいかわからなくなるだろう。

う。「P」に代わって「Change→Chance→Challenge」と考えることができれば。単語だけをみても「P」と違って「C」は未来に希望があふれてくる気がする。将来、私たちは社会において様々なことに直面するだろう。変化が訪れたとき、その変化を危機ではなく好機として考えてその好機を活かすために前に進めるような人になりたい。また、リーダーに必要な「SION」について、リーダーを支える者になる上でもすごく重要だと感じた。どんな状況にいても自分の信念を忘れないことは、未来の私たちが過去を振り返ったときに「満足できる人生だったなあ」と思うことにつながると思う。自分がどこに進みたいのかわからないとしても、自身の信念だけは貫けるように生きていきたい。

5年生徒

私は今まで何か大きな目標を持って、それに向けて大変な努力をして、達成をした、という経験をしたことがない。難しいことに対して、手が届くはずないと自分の中であきらめてしまう、ということもあったと思う。しかし、今日の講演を聞き、すぐには結果が出ずとも、機会をまって、努力を続けていこうと思えた。せっかく好機が来ても、自分の中に熱意や努力がないと、それをうまく見つけられなかったり、結果に結びつかなかつたりすると思う。目標に向けて頑張っていて、成長を感じることができなかつたり、失敗をしてしまつたりして怖くなってしまつたりするときがあつても、意味のない努力ではないから、いつかにつながっていると信じていけばよいと感じた。また、お話を聞いていて、何か状況に変化があつたときに、それをPととらえるか、Cととらえるか、という部分について、深く考えさせられた。何か悪い状況に傾いてしまつたときでも、できるだけポジティブに考え、くさらないことが重要だとおっしゃっているのを聞き、意識していくべきだと感じた。そして、困ったときは友達を頼って、様々な物事に対して積極的に取り組む姿勢を持っていきたいと思う。

3年生徒



### 令和5年4月1日付 学校教職員人事異動 (敬称略)

転出・退職者			
職名	【教科】	氏名	転出先等
教頭	【数学】	大塚 道明	定年退職
教諭	【国語】	堀越 守	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
教諭	【国語】	小井戸苑美	県立安中総合学園高校
教諭	【数学】	清水 雅美	県立赤城特別支援学校 教頭
教諭	【英語】	萩原 大貴	前橋市立南橋中学校
教諭(育休補)	【国語】	後藤 隼斗	県立勢多農林高校
実習手(地公)	【理科】	横田 千絵	県立渋川高校
非常勤講師	【保健体育】	伊藤 恵子	県立嬉恋高校
非常勤講師	【保健体育】	小野 雄平	県立渋川工業高校

転入者			
職名	【教科】	氏名	転入元
教頭	【英語】	町田 邦江	群馬県立女子大学
教諭	【国語】	萩原 茜	渋川市立子持中学校
教諭	【国語】	米山 右恭	県立利根実業高校
教諭	【数学】	田中みゆき	県立高崎高校
教諭	【保健体育】	井上登志晴	前橋市立桃井小学校
教諭	【英語】	高橋 駿	下仁田町立下仁田中学校
教諭(育休補)	【国語】	三島 友里	県立前橋東高校
教諭(育休補)	【保健体育】	岩崎 秀星	新卒
実習手(地公)	【理科】	北村 直之	県立吉井高校



# 朋友祭

コロナ禍で前回は中止となり、4年ぶりに開催された朋友祭ですが、各自工夫を凝らして真剣に取り組み、一生の思い出となる貴重な経験が出来ました。



## 朋友祭を振り返って

実行委員長 6年 長沼 文佳

私たちは、コロナ禍であってもなんとか朋友祭の伝統を引き継ぎたいという思いで準備を進めてきました。初めてのことばかりで大変なこともたくさんありましたが、当日は雨天にも負けにくいくらい中等生の活気と個性のあふれる朋友祭にできたと思います。私自身も小学生の頃からずっと憧れていた朋友祭が開催できて、中央中等生活における最高の思い出になりました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



## 活躍している後輩達

### 都道府県対抗女子駅伝に県代表として出場

過日、京都で開催された第41回都道府県対抗全国女子駅伝に於いて、当校3年生の杉森由萌さんが3区の中学生区間に県代表として出場し、総合13位に貢献しました。

### 都道府県対抗駅伝大会 出場の感想

3年 杉森 由萌

1月15日、京都で行われた都道府県駅伝に参加しました。群馬県代表として憧れの先輩方と襷を繋ぐことが私の長年の夢でした。選考会前に怪我をして一時は諦めかけましたが、先生・友達・家族のお陰でその夢を叶えることができました。

群馬県を背負っての大会は、今まで経験した大会とは緊張の度合いが全く異なりました。しかも、私の区間まで3位の好位置をキープしていたので、不安な気持ちがより増してしまいました。直ぐに後続の選手に追いつかれましたが、絶対にチームの勢いを自分が止めてはいけないと思い、徐々にペースを上げ順位を維持したまま襷を繋ぐことができました。総合順位も13位と各々が今持っている力を発揮でき、次に繋がる結果だと言ってもらえました。中学生になりコロナウイルスの影響で無観客の大会も多かったのですが、今回お世話になった方々に自分の頑張っている姿を伝えることができ嬉しかったです。このような貴重な機会を得るために、沢山の大会や練習会に参加させてもらい本当に有難うございました。

## 収支報告

### 令和3年度 群馬中央同窓会決算

#### ■ 一般会計

収入の部 (単位: 円)				
科目	予算額	決算額	差引増減	備考
繰越金	362,767	362,767	0	
運営費計	3,288,000	3,146,000	△142,000	
入会金	1,160,000	1,160,000	0	10,000円×116名
特別会費	928,000	928,000	0	8,000円×116名
年会費	1,200,000	1,058,000	△142,000	2,000円×529名
総会会費	200,000	0	△200,000	
特別積立会計より	1,700,000	1,000,000	△700,000	
その他収入	233	12	△221	預金利息
合計	5,551,000	4,508,779	△1,042,221	

支出の部 (単位: 円)				
科目	予算額	決算額	差引増減	備考
会議費計	520,000	43,330	476,670	
総会	400,000	7,200	392,800	通常総会
会議費	120,000	36,130	83,870	役員会
事業費計	4,340,000	3,777,554	562,446	
会員親睦費	200,000	100,000	100,000	活動費補助
母校寄与事業	1,000,000	1,000,000	0	図書蔵書購入費ほか
会報製費・発行費	2,800,000	2,598,753	201,247	
行事費	300,000	38,871	261,129	開校記念式典ほか
Webページ設置管理料	40,000	39,930	70	Webページ管理料
役員費計	165,000	89,966	75,034	
通信費	15,000	0	15,000	
払込手数料	150,000	89,966	60,034	年会費払込料金加入者負担額 中央中等職員歓迎会参加費ほか
渉外費	100,000	6,880	93,120	
広告費	60,000	22,000	38,000	高校野球ガイド広告掲載料
慶弔費	120,000	137,185	△17,185	香典、供花
卒業記念品費	100,000	84,612	15,388	卒業証書ホルダー
転退職員饗別	60,000	60,000	0	転退職員饗別
積立金	0	0	0	
予備費	86,000	0	86,000	
合計	5,551,000	4,221,527	1,329,473	

収入総額4,508,779円 - 支出総額4,221,527円 = 287,252円 (次年度へ繰り越し)

#### ■ 特別積立会計

収入の部 (単位: 円)				
科目	予算額	決算額	差引増減	備考
繰越金	31,789,096	31,789,096	0	
一般会計繰入金	0	0	0	
その他収入	904	246	△658	預金利息
合計	31,790,000	31,789,342	△658	

支出の部 (単位: 円)				
科目	予算額	決算額	差引増減	備考
同窓会費一般会計へ	1,700,000	1,000,000	700,000	
周年事業	0	0	0	
その他支出	30,090,000	0	30,090,000	
合計	31,790,000	1,000,000	30,790,000	

収入総額31,789,342円 - 支出総額1,000,000円 = 30,789,342円 (次年度へ繰り越し)

監査の結果、適切と認めます。

令和4年3月31日 会計監査 工藤 雅史  
生沼 英治

### 令和4年度 群馬中央同窓会予算

#### ■ 一般会計

収入の部 (単位: 円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
繰越金	287,252	362,767	△75,515	
運営費計	3,182,000	3,288,000	△106,000	
入会金	1,190,000	1,160,000	30,000	10,000円×119名
特別会費	952,000	928,000	24,000	8,000円×119名
年会費	1,040,000	1,200,000	△160,000	2,000円×520人
総会会費	100,000	200,000	△100,000	
特別積立会計より	1,700,000	1,700,000	0	
その他収入	148	233	△85	
合計	5,269,400	5,551,000	△281,600	

支出の部 (単位: 円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
会議費計	330,000	520,000	△190,000	
総会	250,000	400,000	△150,000	通常総会
会議費	80,000	120,000	△40,000	役員会
事業費計	4,290,000	4,340,000	△50,000	
会員親睦費	150,000	200,000	△50,000	活動費補助
母校寄与事業	1,000,000	1,000,000	0	図書蔵書、地球市民語学研 修補助ほか
会報製費・発行費	2,800,000	2,800,000	0	
行事費	300,000	300,000	0	開校記念式典補助ほか
Webページ設置管理料	40,000	40,000	0	群馬中央同窓会ホームページ 管理料
役員費計	130,000	165,000	△35,000	
通信費	10,000	15,000	△5,000	郵便料、メール便
払込手数料	120,000	150,000	△30,000	年会費払込料金加入者負担額
渉外費	100,000	100,000	0	交際費
広告費	50,000	60,000	△10,000	高校野球ガイド広告掲載料 ほか
慶弔費	100,000	120,000	△20,000	慶弔
卒業記念品費	100,000	100,000	0	卒業証書ホルダー
転退職員饗別	100,000	60,000	40,000	転退職員饗別金
積立金	0	0	0	特別会計積立金
予備費	69,400	86,000	△16,600	
合計	5,269,400	5,551,000	△281,600	

#### ■ 特別積立会計

収入の部 (単位: 円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
繰越金	30,789,342	31,789,096	△999,754	
一般会計繰入金	0	0	0	
その他収入	658	904	△246	
合計	30,790,000	31,790,000	△1,000,000	

支出の部 (単位: 円)				
科目	予算額	前年度予算額	比較増減	備考
同窓会費一般会計へ	1,000,000	1,700,000	△700,000	
周年事業	0	0	0	
その他支出	29,790,000	30,090,000	△300,000	
合計	30,790,000	31,790,000	△1,000,000	

# 令和4年度卒業生(14期生)進路概況

群馬県立中央中等教育学校進路指導部

## 1 概況

令和5年3月に本校を卒業した14期生119名(男子63名、女子56名)は、後期を一斉休校でスタートし、後期生活はほぼコロナ禍という状況の中で、「第1志望校、現役合格」をめざして一人ひとりが前進し、自分の夢や希望を実現すべくそれぞれの進路先に進みました。現役進学率は、過去最高の97.5%でした。

14期生は、最終学年における校外模試でよい結果を出し、そのままの勢いで大学入試を駆け抜けることができたように思います。後期生活がほぼコロナ禍である中でも、それぞれが前を向いて着実に前進し、心身ともに大きく成長した証であろうと思います。近未来の社会において、本校の教育理念である「World Citizen」として活躍するものと確信しています。

## 2 最難関大、医学部医学科

現役生は、東京大に4名(文Ⅲ1名、理Ⅰ3名)のほか、京都大に3名(法、医・健康、工各1名)が進学します。男女別内訳は東京大が男子3名、女子1名。京都大はいずれも男子です。

医学部医学科については、国公立では、東北大に4名、群馬大に2名のほか、弘前大、山形大、筑波大、東京医科歯科大、大分大にそれぞれ1名、私立大では獨協医科大に1名の計12名が進学します。その男女別内訳は男子6名、女子6名です。

## 3 国公立大

最難関大を含む国公立大には現役生のべ75名が合格し、そのうちの64名が進学します。北は北海道から、南は大分県まで、東日本を中心に進学していきます。難関10大学では、上記東大・京大の7名のほか、東北大に10名、東工大に3名、一橋大に2名、北海道大、名古屋大、九州大にそれぞれ1名が進学します。

## 4 私立大

私立大学の定員厳格化の緩和の影響もあってか、14期生の合格率は高かったように思います。最多進学先は早稲田大で8名が進学します。そのうち指定校推薦による進学者は6名でした。

## 5 過年度卒業生(浪人生)【参考】

過年度卒業生は、千葉大(医)、岐阜大(医)、京都工芸繊維大(工芸科学)、慶應義塾大(理工)、東邦大(医)、帝京大(医)、中央大(国際経営)、産業医大(医)等に合格し、報告のあった9名のうち、5名が医学部医学科に進学します。

## 6 展望

3年目を迎えた「大学入試共通テスト」は、思考力・判断力が求められる傾向がより明確になりました。昨年度入試では平均点が大幅にダウンしましたが、今年度は落ち着いた入試であったように思います。

新学習指導要領が始まり、今後は、思考力・判断力がよりいっそう求められる問題が多くなることが予想されます。本校は、グローバル教育の推進とさらなる授業改善が、大学入試改革への対策に直結するものと考えています。生徒全員の「第1志望校、現役合格」を実現するために、今後も関係の皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願いいたします。

【表1】卒業生の進路別実人数(現役生のみ)

卒業期	卒業生数	大学		準大学等	就職	進学努力	現役進学率(%)
		国公立	私立				
1	124	50	53	4	0	17	86.3
2	124	51	56	4	0	13	89.5
3	119	50	48	0	0	21	82.4
4	120	49	54	3	0	14	88.3
5	124	60	52	4	0	8	93.5
6	119	61	46	3	0	9	92.4
7	122	60	53	2	0	7	94.3
8	122	44	62	5	0	11	91.0
9	123	52	55	1	0	15	87.8
10	122	57	59	0	0	6	95.1
11	122	65	43	3	0	11	91.0
12	119	54	61	0	0	4	96.6
13	116	45	61	4	0	6	94.8
14	119	64	51	0	0	3	97.5

【表2】14期生文理別、男女別進路先(実人数)

	卒業生数	大学		準大学等	就職	進学努力
		国公立	私立			
文系男子	21	9	12	0	0	0
文系女子	34	10	24	0	0	0
理系男子	42	29	10	0	0	3
理系女子	22	16	6	0	0	0

- ・準大学等…文部科学省所管外の大学校のほか、短大、専修・各種学校、海外の大学等を含む
- ・現役進学率…(卒業生数-進学努力)÷卒業生数×100



## 大学等合格者数(最近の3年間)

群馬県立中央中等教育学校進路指導部

- ・年度は入試年度
- ・数字はのべ人数
- ・( )内は過年度卒業生の内数
- ・大学名、学部名等は現在の名称
- ・準大学等…短大、専修・各種学校、海外の大学等を含む
- ・令和5年3月末日までの判明分

### 国立大学

大学名	R3	R4	R5
旭川医科		1	
北海道	1		1
弘前		1	1
岩手		1	
東北	8	5	11
山形	1 (1)	2	2
福島		1	1
茨城		1	
筑波		1	3
宇都宮	1	1 (1)	
群馬(情報)	3	2	
群馬(共同教育)	1		
群馬(理工)	2	2	2
群馬(医-医)	4 (2)	2 (1)	2
群馬(医-保健)	3		1
埼玉	1		
千葉	4		4 (1)
お茶の水女子	1	1	3
電気通信		1	1
東京		2	5 (1)
東京医科歯科	1		1
東京外国語	3	1	
東京学芸	1	2	
東京藝術	1		
東京工業	1		3
一橋		1	2
横浜国立	3	1	2
上越教育		1	
新潟	2 (1)	2	1
富山	1		1
金沢	3		5
信州	4 (2)	3	1
岐阜			1 (1)
名古屋	1	3	1
京都	4 (2)	2	3
京都工芸繊維			1 (1)
大阪	1	1	
島根			1
広島	2	1	
九州	2	1 (1)	1
大分		1	1
宮崎	1		
合計	61 (8)	44 (3)	62 (4)

### 公立大学

大学名	R3	R4	R5
釧路公立		1	
秋田公立美術			1
会津		1	
福島県立医科	2		
群馬県立県民健康科学		1	
群馬県立女子		1	2
高崎経済	4 (2)	3	8
神奈川県立保健福祉		1	
横浜市立	2	1	1
長岡造形		1	
新潟県立	1		
都留文科	1	1	2
長野			1
長野県立			1
愛知県立		1	
名古屋市立		1	
敦賀市立看護	1		
京都府立			1
合計	11 (2)	13	17

### 私立大学(抜粋)

大学名	R3	R4	R5
青山学院	5	6	7
慶應義塾	8 (1)	8 (1)	20 (1)
国際基督教		1	1
駒澤	4	6	4
芝浦工業	34	18	24
上智	2	20	18
専修	6	7	7
中央	18	22 (1)	16 (2)
東京女子	4	6 (1)	5 (1)
東京理科	25	18	41 (2)
東洋	11	8 (1)	16
日本	26	10	17
日本女子	3	4 (1)	1
法政	22	17	25
明治	24	20	27
立教	11	17	21
早稲田	17 (1)	18 (1)	31 (2)
同志社	4	1	6
立命館	10	2 (1)	10
合計	403 (24)	404 (8)	430 (14)

### 準大学等(抜粋)

大学名	R3	R4	R5
気象大学校		1	
防衛大学校			1
防衛医科大学校	1 (1)		3 (1)
合計	6 (1)	10	4 (1)



## 令和4年度 通常総会

令和4年度通常総会は残念ながら今回も縮小して開催されました。小規模ではありましたが、一方で例年以上に懇親を深めることができ、充実した時間となりました。



### 令和4年度 同窓会組織役員

<b>会長</b> 時澤 秀明 (13)	<b>理事</b> 藤川 清幸 (11)
<b>副会長</b> 佐藤 義久 (11)	砂長 聡 (14)
川島 陽一 (14)	反町 雅浩 (14)
<b>書記</b> 福田 幸正 (8)	関口 朋克 (20)
鈴木 正治 (8)	阿久津 等 (31)
<b>会計</b> 小和瀬一幸 (14)	<b>首都圏支部長</b> 後藤隆次郎 (9)
<b>会計監査</b> 工藤 雅史 (12)	<b>首都圏支部役員</b> 上原 裕一 (9)
生沼 英治 (17)	<b>顧問</b> 塚越 陽平 (1)
	塚越三三男 (2)
	市川 光則 (6)

※ ( )数字は中央高校卒業期数

## 朋友会ゴルフコンペ



朋友会ゴルフコンペは毎年4月29日と11月3日の年2回開催されています。今年度も例年通りの開催予定ですので、皆様ご参加ください。

連絡先：佐藤 義久(11期) 携帯：090-3539-5745  
E-mail：secfield@olive.ocn.ne.jp

## 同窓会ホームページをリニューアルしました！

このたび群馬中央同窓会のホームページをリニューアルしました。「中央中等教育学校」のホームページにアクセスし、トップページ左側「member's menu」の「中央同窓会」をクリックすると入れます。同窓会の活動や事業予定などをお知らせしますので、時々ご覧ください。

## 首都圏支部報告

令和4年度の首都圏支部総会・懇親会はコロナ禍のため開催を見送りましたが、令和5年度は開催予定です。開催の場合、関係者には案内を送付予定です。

### 年会費振込についてのお願い

会費は同窓会の運営のほか、教育支援等、母校の発展のためにも使われています。趣旨をご理解いただき、年会費2,000円を納入頂けますようお願いいたします。お手数ですが、同封の振込用紙をご利用の上、郵便局からお振込みください。

- 年会費振込口座 ゆうちょ銀行 00570-4-49058  
口座名 群馬中央同窓会
- ATMによる振込も可能ですのでご利用ください。  
(ただし、手数料がかかります)  
・群馬銀行 本店営業部 普通預金 2445643  
口座名 群馬中央同窓会 会長 時澤秀明  
・東和銀行 新前橋支店 普通預金 0372142  
口座名 群馬中央同窓会 会長 時澤秀明

### 朋友基金 寄附のお願い

本年度も朋友基金の寄附を昨年度までと同様にお願いたします。  
尚、朋友基金の詳細につきましてはホームページ等でご確認ください。

#### 寄附金 振込先

- 群馬銀行 高崎支店 普通 2162103  
朋友基金 理事長 矢島正
  - ゆうちょ銀行(総合口座) 10400 30739211  
朋友基金
- 振込の際の手数料は、各自で負担をお願いいたします。  
一口1,000円より(何口でも可)

### 編集後記

予想をはるかに上回る長引くコロナ禍の影響で、昨年度も同窓会活動の自粛を余儀なくされました。その中で開催された通常総会は、会場も変更してこぢんまりとした規模での開催ではありましたが、その分、いろいろな方との会話も弾み、非常に実のある総会となりました。

皆様との会話の中で、多くの方々が本来の総会を楽しみにしていられることが伝わってきました。

この会報がお手元に届くころにはコロナも5類に移行し、様々な自粛も解除される頃かと思えます。

会としましてもより多くの方々に総会に出席していただけるよう鋭意努力しておりますので、来る総会・懇親会にはより多くの皆様の出席をお願いし、昨年度1年間の活動報告をかねての編集後記といたします。